

第 **117** 期
報告書

株主のみなさまへ
平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

New texture by KYOWA

共和レザー株式会社



取締役社長 中村 尚 範

株主のみなさまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第117期の事業内容をご報告いたします。

当連結会計年度のわが国経済は、消費税増税などによる消費の落ち込みがあったものの、その影響も次第に和らぎ、また、各種政策の効果、輸出や生産における持ち直しを背景に企業収益や雇用・所得環境に改善の動きがみられるなど、緩やかな回復傾向で推移しました。

このような状況のもと、当企業グループは、車両用製品の売上拡大により、連結売上高は451億2千6百万円と前期(420億4千2百万円)に比べ7.3%の増加となりました。

利益面につきましては、これまで実施してきた拡販の効果等により連結経常利益は26億3千4百万円(前期連結経常利益17億5千6百万円)、連結当期純利益につきましては繰延税金資産計上の影響もあり35億3千8百万円(前期連結当期純利益12億8千8百万円)となりました。

当期の株主配当金につきましては、中間配当金を1株につき11円とさせていただきますが、期末配当金につきましても、業績等の状況を鑑み、1株につき17円とし、年間としては前期に比べ15円50銭増配の1株につき28円とさせていただきます。今後も株主のみなさまのご期待にお応えしていきたいと考えております。

第118期につきましては、企業収益や雇用・所得環境が改善するなか、原油価格下落の影響もあり、引き続き緩やかな景気回復が予想されます。

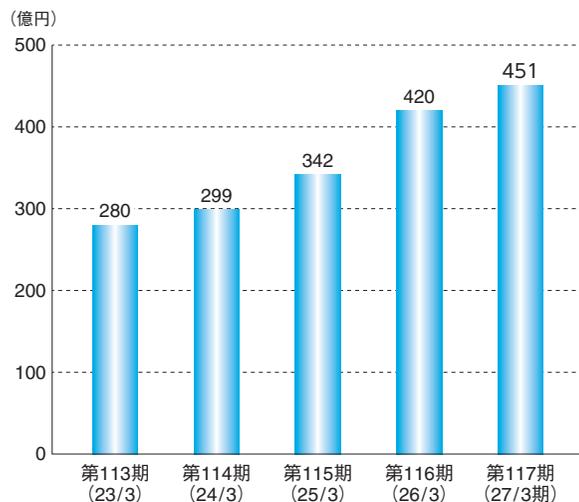
このような状況の中、当企業グループといたしましては、将来の持続的成長を念頭に置き、既存分野の事業構造を再構築し、収益性の向上を図ってまいります。さらに技術開発力を高め時代を先取りした新製品の開発、および販売力の強化、特に海外市場での拡販を推し進めてまいります。あわせて、確かな品質でお客様満足の向上に努め、社業の一層の発展を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

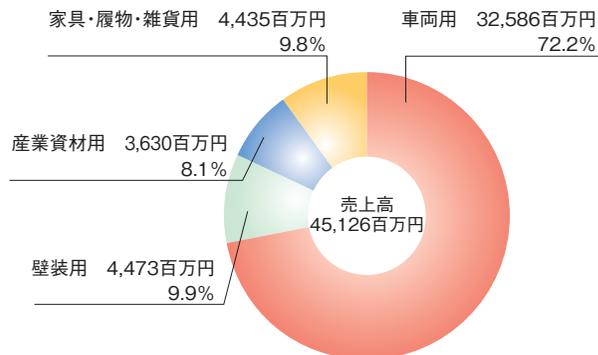
平成27年6月

当企業グループ売上高・利益の推移

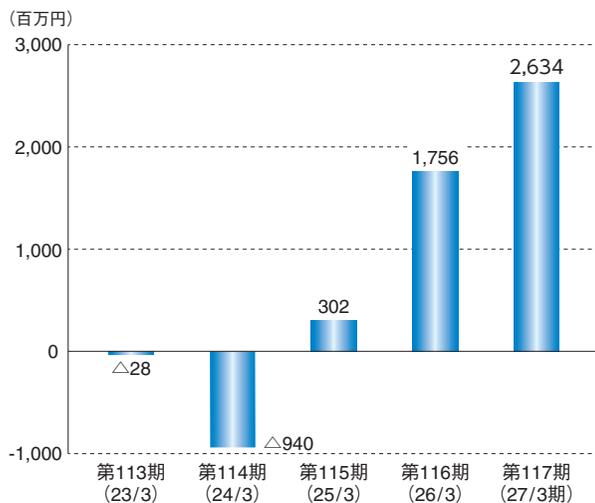
売上高の推移



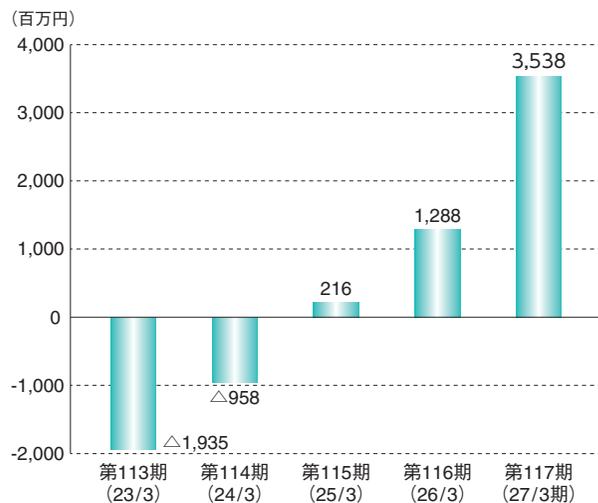
用途別売上高



経常利益の推移



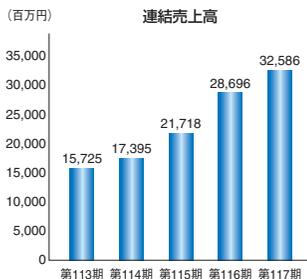
当期純利益の推移



当企業グループの営業概況

当企業グループの製品は自動車内装材をはじめ建物内装・家具・履物・雑貨など様々な場面で活躍しています。

■ 車両分野

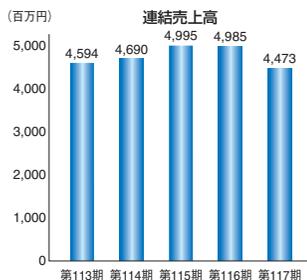
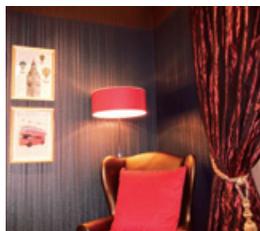


第117期の売上高は、325億8千6百万円と前期比13.6%の大幅な増加となりました。これは、お客様が求める質感や機能、性能を備えたシート用ウレタン合成皮革や、本革の外観意匠に合わせた発泡レザーを提案してまいりました結果、これら

が国内自動車メーカーの高級ブランド車をはじめ各社の新型車に相次いで採用されたことや、中国市場での現地欧米系自動車メーカーなどへの拡販努力が成果をあげたことなどによるものです。

現在、為替は円安基調が継続しており、一部の自動車メーカーでは国内生産回帰し自動車輸出台数を増やす動きが見られ、さらなる売上拡大のチャンスにしたいと考えております。しかしながら、一方では使用拡大が進むシート用ウレタン合成皮革の市場には、従来からファブリックを扱っていた繊維メーカーからの参入など競争は激化の様相を呈しております。こうした厳しい状況の中、第118期以降も、国内外の市場で勝ち残っていくため、一層の原価低減に努めるとも

■ 壁装分野



第117期は、一般住宅のほか商業施設、病院まで幅広い用途に対応する製品の拡販に努めてまいりましたが、消費税増税後の新築住宅着工戸数の減少の影響もあり、売上高は44億7千3百万円と前期比10.3%の減少となりました。

第118期の新築住宅着工戸数は持ち直しの兆しがあるものの、依然として先行き不透明な環境にあります。一方で、中古住宅・中古マンションの需要の高まりにより、リフォーム市場が活発になることが予測されています。こうした中、従来よりお客様の関心の高い防汚・消臭などの快適機能性壁紙に加え、施工性に優れたリフォーム向け壁紙の開発・拡販にも努めてまいります。

■ 産業資材分野



第117期は、住宅・住設市場において、ツヤを抑えた落ち着いた色調が好評価を得たユニットバス用単色フィルムの拡販や、高級表装材カタログでの内装壁面用フィルムの採用点数増などに成果をあげることができました。しかしながら、消費税増税後の新築住宅着工戸数の減少による建材用木目フィルム需要の落ち込みや、新たに採用いただいたキッチン用途向け部材製品の発売時期遅れの影響もあり、売上高は36億3千万円と前期比4.2%の減少となりました。

第118期は、住宅・住設市場以外の分野にも成形加飾フィルムを中心とした提案活動を強化し、新規顧客開拓による拡販に邁進してまいります。

トピックス

創立80周年

当社は、本年8月1日に創立80周年を迎えます。

これを機に会社イメージの刷新を図るため、シンボルマークとロゴタイプを変更しました。

シンボルマークは、共和レザー(Kyowa Leather Cloth)のK・L・Cをモチーフにデザインしました。縦ラインは「筋の通った企業理念」を、左から右へ広がるグラデーションは「世界に発信していく共和レザーブランド」を表現しています。

ロゴタイプは、文字の横ラインに柔らかいカーブをあしらい、縦ラインは直線的に表現し、「しなやかさ」と「強さ」を融合させたデザインとしました。カラーは、「未来」と「知性」の思いを込めたKYOWA BLUEです。

この80周年を100周年に向かう節目の年ととらえ、今後の更なる飛躍に向けた挑戦を続けてまいります。

〈シンボルマーク〉

〈ロゴタイプ〉



技術開発の 取り組み

今春発売された日本を代表する高級ミニバンのインパネ用表皮に成形複合表皮材が採用され、本年1月から新城工場生産を開始しております。

この成形複合表皮材は、エアバッグ作動時の開放性に対応したTPO層と、世界最大クラスのインパネの複雑な形状を再現できる、質感がありクッション性の良い発泡体で構成されています。

その特徴は、“なめらか”な触感を表現した絞形状と発泡体のクッション性から『タッチ感の良さ』を実現したことや、ステッチ柄が際立つ良好な外観にあります。

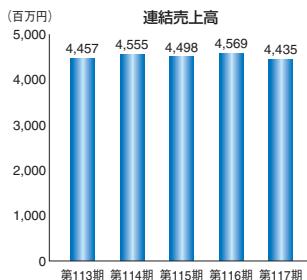
今回、自動車メーカーと初期段階からともに開発に取り組むことで、よりお客様に満足していただける製品づくりにつなげることができました。今後もお客様が満足される、より魅力のある表皮材の開発に注力してまいります。



に、お客様の製造工程での加工性を向上させ、従来以上に扱い易い合成皮革表皮の開発などに取り組んでまいります。また、意匠性の高い外装用成形加飾フィルムなど、当社ならではの魅力を備えた製品の開発に積極的に取り組み、更なる拡販に努めてまいります。



家具・履物・雑貨分野



第117期は、靴・履物分野において、国内製靴市場は引き続き縮小傾向が続く中、市場での主流トレンドがファブリック・人工スエードになったことなどにより、当社主力製品であるウレタン合成皮革表皮の売上が減少しました。家具・雑貨分野においても、消費税増税の影響などにより個人消費が低迷し業務用物件の販売が不振となり、売上高は44億3千5百万円と前期比2.9%の減少となりました。

第118期は、靴・履物分野ではシーズン企画に向けストレッチ素材を中心とした製品の提案を充実させ、また、家具・雑貨分野ではメーカーが発行する新カタログでの採用点数増を目指し拡販を図ってまいります。さらに、今後は素材製品にとどまらず、より付加価値を高めた製品開発を進め、衣料・文具分野などの新規顧客への提案活動を一層強化し、販路拡大に努めてまいります。

連結決算の状況

連結貸借対照表(平成27年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
(資産の部)		
流 動 資 産	26,102	23,769
固 定 資 産	19,636	17,264
資 産 合 計	45,739	41,034
(負債の部)		
流 動 負 債	15,761	14,284
固 定 負 債	2,590	2,483
負 債 合 計	18,351	16,768
(純資産の部)		
株 主 資 本	25,028	22,614
その他の包括利益累計額	1,234	708
少 数 株 主 持 分	1,124	943
純 資 産 合 計	27,387	24,265
負債及び純資産合計	45,739	41,034

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
売 上 高	45,126	42,042
売 上 原 価	37,259	35,002
売 上 総 利 益	7,867	7,040
販売費及び一般管理費	5,359	5,258
営 業 利 益	2,508	1,781
営業外収益	424	251
営業外費用	298	275
経 常 利 益	2,634	1,756
特別損失	—	181
税金等調整前当期純利益	2,634	1,575
法人税、住民税及び事業税	319	191
法人税等調整額	△1,346	35
少数株主損益調整前当期純利益	3,660	1,348
少数株主利益	122	60
当 期 純 利 益	3,538	1,288

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
営業活動によるキャッシュ・フロー ※1	4,236	3,304
投資活動によるキャッシュ・フロー ※2	△2,722	△2,705
財務活動によるキャッシュ・フロー ※3	△616	145
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	31
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	937	775
現金及び現金同等物の期首残高	4,062	3,287
現金及び現金同等物の期末残高	5,000	4,062

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※1 営業活動によるキャッシュ・フローとは営業活動で生じる現金収支を表します。

※2 投資活動によるキャッシュ・フローとは設備投資や出資といった投資活動で生じる現金収支を表します。

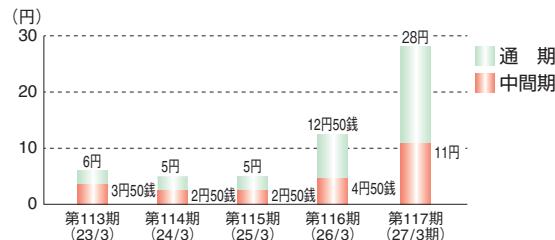
※3 財務活動によるキャッシュ・フローとは資金の調達・返済・配当金の支払いといった財務活動で生じる現金収支を表します。

■ 配当金について

平成27年6月25日開催の株主総会の決議により、平成27年3月31日の最終の株主名簿に記載もしくは記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり配当金をお支払いします。

1. 期末配当金 …………… 1株につき17円
2. 効力発生日ならびに支払開始日 …………… 平成27年6月26日

配当金の推移



詳しい情報は当社のIRページへ

共和レザー | IR

検索

会社の概況

株式の状況

(平成27年3月31日現在)

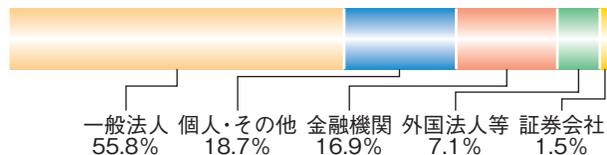
株式の総数

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	24,500,000株

株主数

3,823名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

(単位:千株)

株主名	持株数
トヨタ自動車株式会社	8,360
豊田通商株式会社	1,554
林テンプ株式会社	1,041
株式会社りそな銀行	862
K I S C O 株式会社	765
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	717
住友化学株式会社	400
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	365
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	364
三井住友海上火災保険株式会社	313

会社の概要

(平成27年3月31日現在)

設立	昭和10年8月
本社	静岡県浜松市南区東町1876番地
資本金	18億1,000万円
従業員数	600名(ほか臨時従業員225名)
主な事業内容	下記製品の製造、加工ならびに販売
車両用	内装用合成皮革、内装用成形複合材
壁装用	建築用壁装材
産業資材用	鋼板・合板用化粧フィルム、加飾フィルム
家具・履物 雑貨用	家具用合成皮革、靴履物用合成皮革、 雑貨用合成皮革

事業所

(平成27年3月31日現在)

本社	技術センター	QAセンター	東京営業所
大阪営業所	天竜第1工場	天竜第2工場	新城工場
福田工場	浅羽工場		

役員

(平成27年6月25日現在)

取締役社長	中山 尚	村崎 尚	範浩隆
取締役副社長	堀江 省	江崎 省	二義隆
専務取締役	堀江 省	藤坂 陽	田司 義
常務取締役	堀江 省	増田 和	畑雄 司
取締役	堀江 省	川根 和	澤根 雄
取締役	堀江 省	澤根 和	大石 弘
取締役	堀江 省	大中 展	村直 義
取締役	堀江 省	前野 利	嶋則 卓
取締役	堀江 省	野 利	嶋則 卓
常勤監査役	横堀 洋	堀井 一	増井 二
監査役	横堀 洋	増井 敬	平井 鉄
監査役	横堀 洋	平井 美	山田 典

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人および 特別口座口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料)0120-232-711
公 告 掲 載 方 法	電子公告により、下記当社ホームページに掲載いたします。 http://www.kyowale.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第一部

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



Kyowa
LEATHER CLOTH